

創立記念講演

『自分は自分』—誰もやっていないことを—

中津川市民病院歯科口腔外科部長 澤木佳弘さん



— 第7号 —

発行/岐阜県立恵那高等学校同窓会
所在地/岐阜県恵那市大井町1023-1
〒509-7201
TEL・FAX:0573-25-0253
E-mail : c27331@gifu-net.ed.jp
発行責任者 柘植 章

会報協力金のお願

第5号より、同窓会報『城陵』は年間千円の協力金を振り込んでいただいた方に送らせていただく形を取っています。
来年度以降も引き続き読者になっていただきたく、会員の皆様には趣旨をご理解の上、同封の協力金振り込み用紙により、平成19年2月末日までに千円をお振り込みくださるようお願いいたします。
なお、周りの同窓生にも呼びかけていただければ幸甚に存じます。

『自分は自分』の意味

5月25日午後、本年度の創立記念講演が恵那高校体育館で開催されました。講師は高校28回卒業で、現在、中津川市民病院歯科口腔外科部長の澤木佳弘さん。『自分は自分』と題したお話しに、生徒たちは耳を傾けました。

澤木さんは高校2年の時に腎臓の病のため入院。21ヶ月にわたる闘病生活を経て1年遅れで高校を卒業したという経歴の持ち主ですが、ご本人は「最後まで自覚症状はなかったため、病気がとまったなどという感覚はありません」というお話から講演は始まりました。

任した佐久の病院で、余っていた車に歯科の機械を積み込み、往診をしました。今でこそ、往診は特別なことではないけれど、当時、歯科ではやっている人はいませんでした。

新しい治療法の開発

「その後、大学の研究室にもどり、顎骨延長法を開発し、世界で初めての研究成果として発表しました。」
顎骨延長法とは、生まれつき顎の骨がなかったり、病気で取ってしまった人の残っている顎の骨に切れ目を入れ、毎日少しずつ広げていき、そこに新しい骨を作るといった治療法だそうです。

「その治療法も、発表當時、日本では誰も注目しませんでした。ところがヨーロッパの学会で発表したところ大反響で、いっぺんに認められたのです。」
それだけでは満足しない澤木さんは、フィリピンで口腔外科を立ち上げ、さらにオーストラリアへ留学と新しい

ことに挑戦し続けてきました。

『真実』か『偶然』か
『バイアス』か

「もう一つ覚えておくといいことは」と澤木さんは、「事実として起こった結果は、『真実』『偶然』『バイアス』のどれかでしかないのです。たとえば、アートの遅れて行ったとき、彼女が待っていてくれたとしてもそれは、本当に待っていてくれた『真実』、その日は気まぐれで、今日くらい待っていていいかなと思ひ、待っていてくれた『偶然』、今日はおごつてもらう約束があったから、つまり別の要素が関わって待っていてくれた『バイアス』のどれかであって、すべてが真実ではないのです。人生は『真実』『偶然』『バイアス』のどれかから成っていると考えてもいいでしょう」とまとめられました。
スライドを使い、とても分かりやすい90分でした。

恵那高応援歌のルーツ判明

恵中時代から綿々と受け継がれてきた母校の応援歌。現在の生徒手帳にも、全曲の歌詞は掲載されていますが、「応援歌練習」が廃止され三十有余年。そのメロディーは伝わらなくなって久しくなります。

ルーツはどこに

しかし、十数曲のそれらの歌を、母校の歌として、同窓会のたびに必ず歌っておられる同窓生もまだまだ多いと思います。

先日は中学16回生の会「樹緑会」の方々からも、

「これが我々の応援歌だ。ぜひ残して伝えてほしい。」というメッセージとともに、応援歌を吹き込んだテープを事務局にいただきました。

さて、そんな恵高(恵中)応援歌ですが、そのルーツがどこにあるのか判明しているものはほんのわずかしかなりません。「城陵歌(大会の歌)」「紅軍応援歌

「これが我々の応援歌だ。ぜひ残して伝えてほしい。」というメッセージとともに、応援歌を吹き込んだテープを事務局にいただきました。

その結果、半数をこえる応援歌のルーツらしきものが判明したのです。はじめは、他校応援歌に

メロディーが見つかった

ルーツがあるものなら、インターネット全盛の現代、歌詞の一部を使って検索すれば、案外簡単に分かるのではないかと思われました。しかし、予想に反し、ほとんど検索にひっかかりませんでした。

そこで調査方針を変更しました。この調査をする前から「剣の冴えや」は第三高等学校「逍遙の歌(紅萌ゆる)」のメロディーを借りているということが判明していました。そのことから、どうも、メロディーは

・城陵歌(大会の歌)	オリジナル 作詞 吉田美一 作曲 小松孝蔵ほか
・優勝旗授与の歌	第一高等学校「都の空」
・剣の冴えや	第三高等学校 「逍遙の歌(紅萌ゆる)」
・東雲高く	第四高等学校「ああ幽冥の霧はれて」
・見よ燦然と	第一高等学校「としはや已に」
・紫こむる高原	第一高等学校 「筑紫の富士にくれかゝる」
・我が熱情	第一高等学校「春爛漫の花の色」
・金色の征矢	北海道帝国大学予科「都ぞ弥生」
・一日此処に	第一高等学校「都の空」
・花やし若人	第一高等学校「アムール川の」
・秋晴れの空	東京高等師範「桐の葉」
・流血の覇者	オリジナル 作詞作曲 奥村美信(高校24回)
・おゝ猛獣か	不明
・嗚呼城陵に	不明
・戦機は熟す	不明
・覇者恵高	不明
・雲か雪かと	不明

他校応援歌を参考にし、それにオリジナルの歌詞を付けたものが多いのではないかと考えたわけですが、歌詞での検索という直接的な調査では無力であったインターネットですが、探してみると、旧制高校の寮歌のメロディーを聞くことのできるサイトがいくつも見つかりました。その中に旧制一高の同窓会が作っている「第一高等学校ホーム

ページ」<http://www6.ocn.ne.jp/kohryoh/home.html>があったのです。このホームページでは「寮歌集」として七十数曲のメロディーを聴くことができるようになっています。

全曲を順に聴いてみると、恵高応援歌が参考にしたと思われる多数が発見されました。それに続いて、四高や東京高師の歌にもルーツが次々と見つかったのです。

そうした調査の結果、現在判明した分が「左上の表」です。こうしてみると、一高の寮歌が元となっている歌の多いことが分かります。きつと、あこがれの旧制高校へ進学した恵那中学の先輩方が、長期休暇等で帰省した際、後輩にメロディーを伝授したものと想像されます。そのメロディー

にまたどなたかがオリジナルの歌詞を付けたのでしよう。

いまだ道半ば

こうして、半数以上の曲のルーツは判明しましたが、まだ分からないものも多くあります。(覇者恵高は国士館に第二応援歌として同じ歌詞の曲があることが判明していますが、本校の方が古いようで、現在問い合わせ中)また、メロディーは借りたものの、オリジナルの作詞は誰なのか、それも分かっています。

もし、判明した以外の情報をお持ちの方がいらっしゃらば、恵那高校内同窓会事務局までご一報ください。すべての曲のルーツを探っていきたいと思えます。

大野岩夫校長退職、小邑政明校長着任



小邑政明校長

2年間校長を勤められた大野岩夫先生が定年退職されました。

大野先生は、教諭・教頭・校長として合計12年の長きにわたり恵那高校に勤

務され恵那高校の発展に多大の尽力をされました。後任として、岐阜県知事公室総合政策課から小邑政明先生が来られました。

県教育委員会に長年勤務され、直前の役職は教育改革企画監兼人づくり推進室長として教育委員会と行政の橋渡しという要職をされていた。

城陵論壇

今年には私にとつて大きな節目となった。「人生50年」どころか「教職50年」を達成し、城陵会長も後進に譲り、この4月からフリーとなった。母校恵那高には校長教頭併せて18年在籍し、深い縁を感じる。少しでも地域に役立つ学校に育ち、よき伝統を培ってほしいと願っている。

さて、原稿依頼を受け、城陵会との関わりなどお尋ねがあったので、以下、こんな想いを書いてみた。

事務部長として、母校へ赴任して2年目になり、学校の安全管理(特に施設設備面)には十二分に留意する必要を痛感しており、全国的な傾向として、思いもよらない事故や新たな問題が発生しており、特に生徒の安全確保を最優先に目配りしているところで、また、社会の変革に伴い、いかに最少の費用で所要の効果が出来るか、地域との連携を推進しながら外部とどのように折衝してい

「おい、智、おまえ暇だから城陵会を再興せよ。」

恵那高70周年を数年後に控えた昭和の終わり頃、時の校長からこんな命令が下った。その時、私は定時制の教頭。確かに、午前中は先生も生徒も来ない。暇といえば暇であるのだが。同窓会の組織は、学校に事務局を置く本会を中心に、その下に各地の同窓会組織がある。恵那の「城陵会」・中津川の「恵蘇会」・瑞浪の「恵窓会」等々がそれである。昔を懐かしむ同期会や同好会とは、やや、趣を異にする。再興を命じられた

くかなど、幅広い見識と厳正な対応が求められており、事務職員として、果たすべき役割や行動に責任の重さを感じております。

さて、文部科学省から平成16年度に指定を受けました、将来有意な科学技術系人材の育成を図る、スーパーサイエンスハイスクール事業(S・S・H)も最終年度を迎え、11月22日に恵那文化センターを会場に「S・S・H成果報告会」を開催しました。最先端技術等への関心の高まりやプレゼンテーション能力の向上など大きな成果がみられました。ま

のはこの恵那の城陵会である。

「地元の城陵会なしでは、とても70周年など行えない」と、時の、故大島恵蘇



城陵会前会長
水野智夫

会会長からの強い圧力もあり、それで、その折りの本会の同窓会長、故度会文男氏をキヤップに、私が事務局を引き受け、再興に取り

かかることになった。名簿の作成のほか、組織の立ち上げに取りかかる。幸い会長に市川孝太郎氏・事務局長に故荒川昇氏の了解が頂

城陵会の思い出

け、急ピッチで進めた。その結果、昭和62年2月11日、第1回城陵会総会開催にこぎ着けた。皆さん待ちかねてみえたのか、出席者は4

00名になんなんとする大盛会となった。以来、毎年2月11日に総会を開き、現在に至っている。平成6年、市川孝太郎初代会長の体調

だが、ひき続き帝京大学可児高等学校中学校長を受けることとなり、以来11年、二足のわらじを履くことになった。このため、歴代の事務局長はじめ役員の方々に、多くの迷惑をおかけすることになり申し訳なく思っている。

しかし、母校の2つのイベント、70周年・80周年を無事乗り越え、末松先生の顕彰祝賀会など本会でこなしきれない部分のフォローなど、着実にその責を果たすことができた。これからも地味に活動を続けていくと欲しいと考えている。

た、末松安晴先生「中24」のご配慮により、8月には松田岩夫内閣府特命担当大臣(科学技術政策)「当時」が学校を視察され、S・S・H



恵那高等学校事務部長
各務茂成

の課題研究などの活動状況を観て廻られながら、生徒に激励の言葉をかけられました。さらに、3年間のS・S・Hに対する取組や成果を

踏まえ、19年度以降も継続実施のため、再申請に向けて検討しているところで

まっているところです。その様なお中、生徒達は目標の実現に向け、勉学に励んでおります。学校全体が最後まで頑張り抜く雰囲気にな

より良い教育環境を目指して

どにより、この4月から地域の高校が再編されます。地域の方々や他校からは、地域の中心校である本校の役割に、ますます期待が高

まれ、その熱意は事務室まで伝わってきます。本校の3棟ある校舎のうち、第1棟及び第2棟は建築から43年が経ちました。

第3棟の改修も視野に入れながらそろそろ改築の時期にきています。現在のところ具体的な計画は決定されておりませんが、ここ何年かうちには、3代目の校舎として皆様方にご案内出来るかと存じます。建物よりも中味という考え方もありますが、生徒にはより良い教育環境で学ばせたいと思っております。学校周辺の道路改良が恵那市の事業として計画されていることもあり、新校舎が完成の頃には、周辺の状況や学校へのアクセスも大きく変わることが予想されます。

母校のトピックス



過去5年間比較で最高値を残しており、進学面の実績でも期待できる体制になっていた。

小邑塾・安田塾 スタート

毎朝、校長室や化学室で熱い講義が展開され、生徒は食い入るように勉強。小邑校長先生は数学を、安田

教頭先生は化学を、東大を始めた難関国公立大学受験を目指す生徒を鍛える道場が、ここ恵那高校にはある。「東大は、毎年オーソドックスな問題を出題。しっかりと勉強すれば必ず届く」「東大受験には、それなりの方法論がある」「スタートは2年の後期から」と話す両先生の元には、今日も教えを請う熱心な生徒が訪れている。

服装指導で進学実績も向上

生徒指導部(4月)

同窓生を始め校外外から多くの指摘もあり、懸案であった恵那高生の頭髮服装について、4月から指導が重点的に行われている。始業式や全校集会など集会の際にチェックを行い、毎朝校門前での挨拶指導を兼ねた服装指導には担当の教員を始め校長先生、PTA役員の方も参加。挨拶を交わしながら生活指導や学習相談、時には清掃活動もあつて、学校周辺からは服装と共に学校も美しくなったと評価されている。

県大会を第2位で通過した新体操部(団体の部)が、名古屋市で行われた第53回東海高校総体に出場した。7名編成のチームは受験を控えた3年生中心であったが、出場しない他の3年生も毎日顔を見せ、厳しい練習をサポートした。当日は

チームワークで東海大会

新体操部(6月)



(写真) 東海大会壮行会

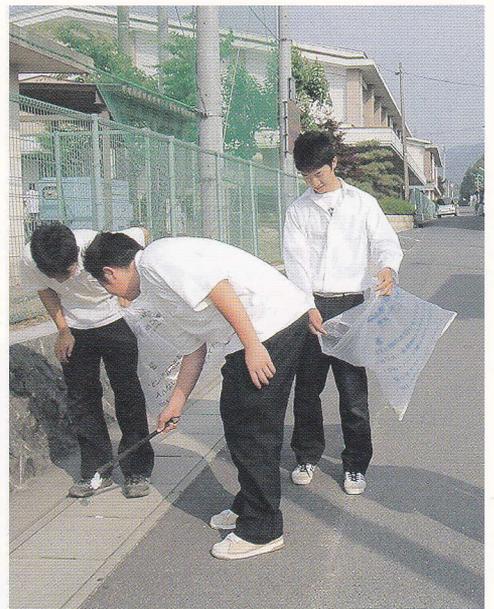
全国大会常連校の中でやや緊張したのか、ミスが多く本来の実力を出し切ることができなかった。しかし後輩の見守る中、大きな大会を経験したことで、後輩へと夢を託すことができた。

県の意見聴取に協力

一年生正副室長(9/14)

県環境生活部男女参画青少年課からの依頼を受け、青少年健全育成計画策定に関する意見交換会に協力、本校会議室において意見聴取会が行われた。

依頼を受けたのは県下4校の中学高校。自分が知事になって議員の質問の答え



(写真) 清掃活動をするボランティア推進委員

国語力セミナーで優秀賞

生徒会(11/3)

平成18年度「高校生のための国語力セミナー」が文化の日、岐阜市で行われ、本校を代表して生徒会の5名が参加した。「相手の立場を尊重しながら、互いに考えや気持ちをうまく伝えあうには？」をテーマに、ゲームやダイアログ方式の討論会、講演を通して県下の高校生と意見交流した。討論コンテストでは「知りたい情報を得るのはどうち? インターネット? 従来のメディア?」と題し、意見の応戦が行われた。本校は昨年に続き2年目の参加であったが、事前練習を生かし、見事第4位(奨励賞)を獲得した。

平成一八年度「高校生のための国語力セミナー」が文化の日、岐阜市で行われ、本校を代表して生徒会の5名が参加した。「相手の立場を尊重しながら、互いに考えや気持ちをうまく伝えあうには？」をテーマに、ゲームやダイアログ方式の討論会、講演を通して県下の高校生と意見交流した。討論コンテストでは「知りたい情報を得るのはどうち? インターネット? 従来のメディア?」と題し、意見の応戦が行われた。本校は昨年に続き2年目の参加であったが、事前練習を生かし、見事第4位(奨励賞)を獲得した。

将来になりたいものは何

職業講話(11/10)

今年で5回目になるこの事業は、生徒の進路選択に役立てるとともに、仕事の大切さや人生の先輩の生き方などを通して進路意識の向上を目的として、行われている。

弁護士、獣医、機械技術者など様々な職種の社会人24人から仕事内容や、その職業に就くための進学先、必要な資格などを学んだ。講師の体験談を交えた具体的な講話に、生徒らは熱心に聞き入り、多くの質問を交わしていた。

著作物寄贈のお願い

恵那高図書館では同窓生から寄贈された著作物を「城陵文庫」と名づけ、後輩生徒たちの目に触れるようにしています。著作物を、学校図書館までお寄せください。

なお、本年度の寄贈本は以下の通りです。

- 谷口研語著『森長可』
- 末松安晴著『光ファイバ通信入門 改訂4版』
- 末松安晴著『明日を拓く人間力と創造力』

卒業生のおもな合格先 ー過去3年間ー

※現役合格者と浪人合格者の合計数。()内は浪人合格者の内訳数

【国立大学】

大学名	年度	平成17	平成16	平成15
北海道		2		
帯広畜産			1	
東北		1		
秋田				1 (1)
山形				1
福島				1
茨城		1	3	2
筑波		2 (1)		1 (1)
宇都宮		1		1
埼玉		1	2 (2)	1 (1)
千葉				3 (1)
東京		1		
東京外国語			1	
東京学芸			1 (1)	1 (1)
東京海洋				1
横浜国立			2 (1)	1
新潟			1	1
富山		5	2	5 (1)
富山医科薬科			1 (1)	
金沢		1	4	2
福井		3	1	1
山梨			2	2 (1)
山梨医科※山梨に統合				
信州		5	5	12 (4)
静岡		4	6	4

大学名	年度	平成17	平成16	平成15
愛知教育		1		2
名古屋		7	7 (1)	2
名古屋工業		2	4	2
岐阜		9	8	13 (1)
三重		4	5 (2)	3 (1)
滋賀		1	2	
京都		1		1
京都工芸繊維		2 (1)		
大阪			3	
大阪外国語		1		
奈良女子		1 (1)	1	1
奈良教育		1		
鳥取				1
広島		1	1	1 (1)
島根			2 (1)	2
高知			1	
徳島		1		
香川		1		
佐賀				1 (1)
鹿児島			1	

【大専校】

大学名	年度	平成17	平成16	平成15
防衛大専校			1	

【公立大学】

大学名	年度	平成17	平成16	平成15
岩手県立			1	
群馬県立女子				1
高崎経済		2		
首都大学東京		2	2	
横浜市立			1 (1)	
福井県立				2 (1)
都留文科		3	1	1
山梨県立		1	1	
長野県立看護			1 (1)	
岐阜県立看護		2	1	1
静岡県立		1		1
愛知県立		4	1	
愛知県立芸術				1 (1)
名古屋市立		3		2
滋賀県立		3 (2)	2	
京都府立		2 (1)	2	
大阪市立			2	
神戸市外国語		1		
兵庫県立			1	
県立広島			1	1
尾道		1		
宮崎公立			2	
九州歯科			1	
富山県立		1		

【私立大学】

大学名	年度	平成17	平成16	平成15
城西		1		
獨協		1		
東京薬科			1	2 (2)
千葉工業		1		
帝京平成		3		
麻布			1	
東邦				1 (1)
亜細亜				1
青山学院			3	1
桜美林			1 (1)	
北里		2	3 (1)	5 (3)
杏林		1		
慶應義塾		1 (1)	1 (1)	2
工学院		2		
國學院			1	1
駒澤				1
実践女子			3	
芝浦工業		2	1	
順天堂		1		1
上智		3		3
昭和			1	
昭和女子		1	2	
湘南工科			1	
成蹊		1	1	1
専修		2	5 (2)	2 (1)
創価			1	
大東文化		2	1 (1)	1
拓殖				1
多摩美術				1 (1)
中央		4 (1)	4 (1)	2 (1)
帝京		5 (1)		
東海		5 (1)		4
東京女子		1		1
東京電機				1
東京農業		3	1	3 (1)
東京理科		9 (3)	5 (1)	2 (1)
東洋		1	3	1
日本		4	3	6 (1)
日本女子				2
藤田保健衛生		4 (1)	3	2 (1)
南山		25 (1)	27 (3)	8
日本福祉		3	1	1
名城		45	34 (4)	26 (1)
東海学園		6	3	1
桜花学園		2	1	1
人間環境			2 (1)	
皇學館				2 (2)
鈴鹿医療科学		2	1 (1)	1
同朋		1	1	
名古屋文理		3 (1)		2
長浜バイオ			1 (1)	1 (1)
京都学園			2	

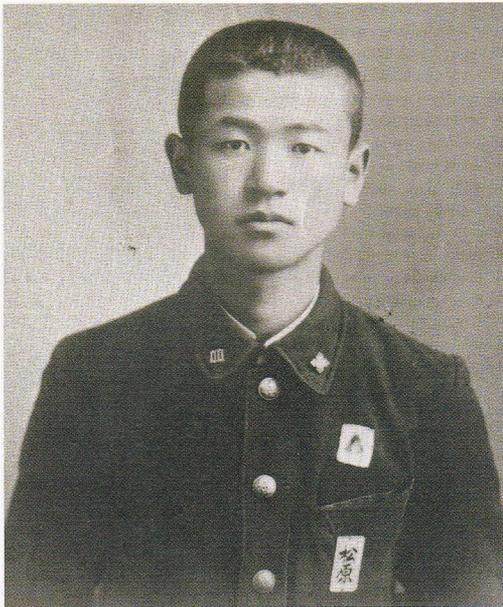
大学名	年度	平成17	平成16	平成15
京都外国語		3		3
京都産業		2		
京都女子			5	3
京都造形芸術				1
京都橘			1	1
同志社		10 (3)	12 (2)	8 (1)
同志社女子			4 (1)	1
佛教			2	
立命館		14	18 (1)	8 (2)
龍谷		2	6 (4)	
京都文教		1	1	
大阪芸術			2	1
大阪工業			1 (1)	
追手門学院			2	
大阪樟蔭女子			1	
大谷女子			2	
関西		6	4	4 (1)
関西外国語		4		3
近畿		13	9 (1)	4 (2)
梅花女子			1	
兵庫				1
関西福祉科学		1		2
関西学院		4 (2)	2	1
甲南			1	
甲南女子				1
神戸学院		1	4	1
愛知学泉		3 (1)		
愛知工科		2		
岐阜医療科学		4 (1)		
女子栄養		1		
尚美学園		1		
西南学院		1		
千葉科学		1		
大阪体育		1		
帝京科学大学		1		
東京医科		1 (1)		
東京医療保健		2 (1)		
福岡学院		1		
兵庫医科		1 (1)		
流通経済		1		
神戸ファッション造形			1	
神戸薬科			1 (1)	
武庫川女子		1	2	
奈良			1	
岡山理科		1		
川崎医科		1 (1)		
川崎医療福祉			1	1
就実			1	
広島国際				1 (1)
法政		9	5 (1)	4
武蔵野音楽		1		
武蔵工業			1	2

大学名	年度	平成17	平成16	平成15
武蔵野美術		1	1 (1)	1 (1)
文化女子			2	
文教			1	
明治			7 (1)	4 (3)
明治学院				1
日白			2	
明星		1	1	
立教		1	4 (2)	1
和光			1	
早稲田		4	6	4 (1)
神奈川		2	6 (1)	3
神奈川工科				1
東京工芸				1
新潟医療福祉			1	
新潟薬科		1		3 (1)
金沢医科		1 (1)	1 (1)	
金沢工業		4	7 (1)	2 (1)
北陸		3	2 (2)	3 (3)
鎌倉女子				1
朝日			1	1 (1)
岐阜女子		6	1 (1)	2
岐阜聖徳学園		2	3	5
中部学院			1	1
愛知工科		2		1 (1)
静岡文化芸術		1		
静岡理工科			1	
帝京科学			1	
浜松			1	
星城		2	2	5
名古屋学芸		4	4	2
愛知		24 (5)	17	15 (1)
愛知学院		11 (2)	12 (2)	10 (1)
愛知医科		1	2	2
愛知工業		9	13 (3)	7
愛知産業			1	
愛知みずほ				2
愛知淑徳		11 (1)	26 (2)	10
金城学院		6	10	8 (1)
椋山学園		2	7 (1)	1
大同工業		3	2	4 (2)
中京		18 (5)	18 (2)	8
中京女子				1 (1)
中部		24 (1)	9 (2)	18 (1)
豊田工業		2	2	1
名古屋音楽			1	
名古屋外国語		6	2	1
名古屋学院		4	1	
名古屋経済		2		
名古屋商科		1	2	
名古屋女子		3	7 (1)	3 (1)
名古屋造形芸術		1	1	

八十年の軌跡 ⑦

動員学徒慰霊塔に眠る 松原良男さん安らかに

平成18年10月8日、念願だった広島市の『動員学徒慰霊塔』を訪れた。この塔は平和記念公園・原爆ドームのすぐ南隣にあり、第二次世界大戦の末期、学業を中断して戦場や工場に強制動員され、戦禍に倒れた中等学校(旧制の中学校、女学校、実業学校)生徒と国民学校(小学校)児童を祀るために建立されたもの。動員された学徒は全国で300万人、うち戦没者は1万有余人と言われるが、実数は把握されていない。岐阜県下ではただ一人、同窓生の松原良男(まつばらながお)さん「中学19回4年卒業、旧・落合村出身」が祀られている。



【写真】昭和19年中学4年当時の松原さん

居松(現・春日井市)製造所へ動員され、小銃や風船爆弾の生産に従事した。しかし、戦況は我が国不利に推移。昭和20年3月25日夜半、敵B-29 130機の大群が名古屋、鳥居松を猛爆。タコつば防空ごうに避難していた松原さんは、近くに落ちた爆弾により背部爆創を受け無念の戦死、ほかに同窓生2人が軽傷を負う深刻な事態となった。同日、工場内で「第19回卒業式」が行なわれ、戦争急迫の折、5年生「19回5年卒業」だけでなく、松原さんを含む4年生「19回4年卒業」も繰り上げ、264人が卒業した。

戦後、政府は原爆や空襲で亡くなった動員学徒のうち、氏名、戦没日などが分かっている人に限り靖国神社への合祀を認めた。それを受けて名簿作成運動を開始した遺族「広島県動員学徒犠牲者の会」の募金により、昭和42(1967)年7月15日、慰霊塔が建立されたという。

高さ12m、5層の塔の中心柱に慰霊の灯明が付いており、設計者は村田相さん。塔の根元にある平和の女神像と4枚の学徒像レリーフは、彫刻家、文化勲章受章者の圓鐔(えんつば)勝三さんの作品。その裏側には、戦没学徒出身校三百四十七校の名前が記されており、ほぼ中央に松原さんの出身校を示す「岐阜恵那中」が刻まれている。

戦後61年。松原さんの戦没は、中学末期の同窓生にとつて、今なお強烈な印象として残る出来事である。

同窓の話題 — 城陵短信

中19回・高8回同窓会に寄付金

中学19回生(4卒)は、喜寿を過ぎたのを機会に、積み上げてきた記念アルバムを本会に保存することを依頼され、その資金として7万円を寄付されました。また、高校8回生は10月29日、恵那峡グランドホテルで卒業50周年記念の同窓会を催され、記念事業として、同級生の資金カンパにより、特別な基金として本会に20万円を寄付されました。



『北斗祭』の舞台、母校へ 城陵歌碑前で46人が大合唱

『城陵歌』(大会の歌)が誕生してから平成18年で80年、作詩者・吉田美一さん「中1」が逝去してから65年祭に当たる。命日の8月11日に同歌を歌って追悼する『北斗祭』は、今年から会場を母校の



【写真】町野干城さん【高8】の指揮で『城陵歌』の大合唱。

「城陵歌碑」前に移し「恵那高校の伝統を守る会」森川正昭名誉会長「中19・4」の主催で開いた。当日は、遠く名古屋から竹中昭さん「中18」、虎沢祥吉さん「中22」、それに前実行委員長の石垣明さん「中17」、加藤利徳県議「中19・5」ら中学組25人が駆け付け、高校組は柘植章同窓会長「高8」、西尾直躬県議「高14」ら21人、合計46人が参加。午前11時、吉田さんと作曲者・小松孝藏さんに黙とうをささげた後、同30分、町野干城さん「高8」の指揮で、天まで届けと大合唱した。

式典後、会場を「クラブいち川」に移して、昼食・懇談会を開き、参加者は一風変わった同窓会を堪能した。



同窓会総会開催される

5月21日(日) 15時30分より約40名の出席で恵那高校会議室において開催されました。

榎植会長、小邑学校長による挨拶の後、17年度事業ならびに決算報告、役員改選、18年度事業案・予算案の承認が行われ、今後の同窓会運営に役立つ、多くの貴重な提言がなされました。

また、18時より懇親会をいち川旅館にて行い、所用のため懇親会のみ参加でき

た方も加わり、応援歌・校歌で盛り上がった会となりました。



ました。この会は、例年、5月の第3日曜日に開催されています。

必勝横断幕・恵那実女校旗を母校に寄贈

5月7日(日) 午後7時より、恵那高校第一体育館にて、恵那地区居住の同窓生有志による「恵那高の伝統を守る会」発足の総会が行なわれ、同会名誉会長の森川正昭さんより、「必勝 恵那高等学校」と書かれた長さ約10メートルの横断幕と、「恵那高等実科女学校」の校旗が母校に寄贈されました。



す。特に若い層の同窓生の方は積極的な参加をお願いします。

叙勲で堀井高文、末松安晴、玉樹成三さんが受章

平成18年春の叙勲で、堀井高文さん「高6」が瑞宝小綬章、秋の叙勲では、末松安晴さん「中24」が瑞宝重光章、玉樹成三さん「高3」は旭日小綬章を受章しました。

堀井さんの受章は高等学校校長等として永年岐阜県の教育に尽くした功勞によるものです。また末松さんは元東京工業大学教授、学長として、永年、教育研究に尽くした功勞により受章、玉樹さん

校歌、城陵歌の誕生と歴史

『城陵歌物語』をまとめる



古山精さん「高1」は、「校歌」と「城陵歌」の誕生から現在までの歴史について、25年間にわたって調査してきましたが、このほど、その調査内容をまとめ、パンフレット「ふるさと小百科第2号・『城陵歌物語』(写真)」として50部作成し、恵那高をはじめ校歌、城陵歌の関係者らに配付する。これは25年間の調査が無駄にならないよう記録し、後世に伝えようとするもので、特に、年表には把

握事項すべてを記録し、撮影・収集した写真も印刷して伝えるようにしました。A4版、合計46p。うちカラー写真も交えた「写真で歴史をたどる：校歌と城陵歌」に16p、25年間の全調査内容「校歌と城陵歌の年表」に14p、恵那高の校誌『恵華』平成10年度版に寄稿した「城陵歌物語」に10pを充てています。これらの原稿印字から編集、プリント、製本まで、全部自力でこなしした手製。

なお、「ふるさと小百科第1号」は「武並神社と七宮神社」で、A4版31p、カラー写真入りで80部作成。現在、国の重要文化財に指定されている武並神社を、「国宝に昇格させよう」と呼びかけるもの。

帽章や『恵華』の寄贈 貴重な資料の寄贈は大歓迎

亀山信夫さん「中14、坂下城陵会」から「恵那高資料室」へ、帽章、上衣ボタン各1個、「恵華」第12号1冊が寄贈されました。

帽章(写真1)は、まだ金色の塗装が残っていて保存状態良好の品。「恵華」(写真2)は日中戦争が始まった直後の昭和13(19



余談として現社殿を再建した大井城の城代・藤井常高や、その大井城の位置が「城ヶ丘」となったことにも触れています。このような恵那中・恵那高の歴史を伝える貴重な資料の寄贈は大歓迎です。どしどし「恵那高資料室」までお寄せください。90周年100周年に向けて、充実させていきたいと思っております。

地区各回同窓会あれこれ

恵那城陵会総会

① 2月11日開催。市町村合併により範囲の広がった恵那城陵会であるが、中津川市からも参加者があり、106名を数えた。

会長が水野智夫さんから荻野恵三さんへとひきつがれることとなった。

今年度は「城陵の80余年」と題したスライドショーで懇親会も盛り上がった。

名古屋恵那高会70名参加

② 名古屋恵那高会では11月24日、会員70名が参加し、第51回総会を開催。

また、「伝統を守る会」の音頭により、手をつなぎ輪になつての「城陵歌」斉唱で盛り上がった。

東京城陵会総会と親睦旅行

③ 東京城陵会では10月29



日、第10回総会を開催した。旧中卒の諸先輩の姿は減少したが、新進気鋭の高校卒の諸兄がこれを補い、和気藹々とした会となった。

また、これに先立つ6月21日には月例会の常連20名で、鬼怒川温泉に一泊旅行を試みた。

④ 市町村合併を機に、蛭川在任の方も含め、名簿総数1010名。今年の総会では11月25日(土)に開催し、出席者数23名。

中津川恵那高会(恵蘇会)

総会の出席者を増やすため、今年から、60、70、80歳の方々に記念品を贈りお祝いさせていただくこととした。

中24回同期会紅葉の磐梯へ

⑤ 恒例の親睦旅行は17



中16回樹緑会応援歌録音

人が参加し、18年10月26日から2泊3日、優雅に楽しくバスとフェリーで磐梯を旅行。野口英世記念館では、恵中恩師山田隆一先生に野口英世像の彫刻作品が数点あり、岐阜県下の学校に飾られていることを知った。

中22回同級会40%が出席

⑥ 平成18年5月14日、恵那峡で今年の同級会を開いた。喜寿に当たる今年の現

高校9回は卒業50年目

員は124人(死去74人)、うち49人が出席し、出席率40%と今年も好成績。

明智恵中会11回目の総会

⑦ 4月22日第52回の会を開催した。中学卒業時には百名であったが現会員は45名、今年の出席者は19名となった。当日の思いつきで、「応援歌を録音して後輩に残そう。」と応援歌全部を歌って録音した。



国税「恵那会」記念植樹

⑧ 11月14日、同窓会を開催した。76名の参加という盛大で和やかな会となり、大いに懇親を深めた。

明智恵中会11回目の総会

⑨ 11月17日、第11回の総会を開いた。

高校9回は卒業50年目

⑩ 4月4日、恵那峡「力」に18人が集まり総会。この日はやはり仕事から離れ、和やかな懇談が続いた。



明智恵中会11回目の総会

出席者は中学15回から23回まで。全員75歳以上だが、恵中健児の意気は全然衰えず極めて盛ん。

国税「恵那会」記念植樹

⑩ 4月4日、恵那峡「力」に18人が集まり総会。この日はやはり仕事から離れ、和やかな懇談が続いた。

明智恵中会11回目の総会

この総会に先立つ3月19日、観光協会の許可を得て、恵那峡湖畔に会長ら代表4人により桜の記念植樹。



明智恵中会11回目の総会

出席者は中学15回から23回まで。全員75歳以上だが、恵中健児の意気は全然衰えず極めて盛ん。

国税「恵那会」記念植樹

⑩ 4月4日、恵那峡「力」に18人が集まり総会。この日はやはり仕事から離れ、和やかな懇談が続いた。

明智恵中会11回目の総会

この総会に先立つ3月19日、観光協会の許可を得て、恵那峡湖畔に会長ら代表4人により桜の記念植樹。

